

北勢地区標準化懇談会 2011年度 活動報告

懇談会	テーマ	精度管理関係	その他
2011年 5月16日 20名参加 多目的ホール	糖尿病関連検査の基礎 (市立四日市病院中央検査室 佐藤幹生先生)	2月実施地区サーベイの検討 1施設CRP1濃度のみ2SDはず れていた。CALをとりなおした	脂質用凍結乾燥品2本も配布
7月26日 24名参加 会議室402	関節リウマチ検査の最近の話題 MMP-3の臨床的有用性を中心に (積水メディカル株式会社学術 西日本グループ 平田 治講師)	5月実施地区サーベイの検討 機器の変更に伴い脂質系の値 が低値になってしまった。CAL の静置時間の確認	三重県臨床化学・免疫血清勉 強会を開催 日臨技内部精度管理データの 用紙を同封
9月29日 23名参加 会議室402	敗血症(細菌性)の鑑別診断 PCT検査 (和光純薬工業株式会社)	7月実施地区サーベイの検討 HDL・LDLーCho標準物質の通 達	臨床化学勉強会のお知らせ
11月8日 28名参加 多目的ホール	①肝炎ウイルスの基礎と臨床 ②第18回中部地区臨床化学検 査研修会の参加報告 (①栄研化学株式会社学術1部 足川達也講師) (②市立四日市病院中央検査室 村林春香先生)	9月実施地区サーベイの検討	三重県臨床化学・免疫血清勉 強会を開催
2月21日 25名参加 会議室402	心筋マーカー (アボットジャパン株式会社)	11月実施地区サーベイの検討 1施設LD1濃度のみ記載ミス	サーベイ検体の運搬方法及び 溶解方法の見直し

総 括

今年度は5回の勉強会及びサーベイの検討を行うことが出来ました。
勉強会において、さまざまな分野における話題を提供していただきました。
サーベイの検討では5回ともほぼ同じような結果が得られたと思います。
ただ、検体の運搬方法(保存方法)や溶解方法、また測定日の違いなどで
結果にばらつきが生じているのではないかと思います、統一をしてはいいかがか
と提案しました。
精度管理が始まってから15年ほど経っています。検査を行う方も代わって
いるでしょうし見直してはどうかと思いました。

- ①来年度からドライアイスを準備し検体を溶解しないように持ち帰ってもらう。
- ②次の日病院に持っていき冷凍庫に保存。
- ③溶解は室温の水に15分間浸ける。
- ④転倒混和後測定。
- ⑤1週間以内に測定をする。

更なる良い結果が得られることを期待します。